

評価機構

2021

5

月号

NEWS LETTER

特集

評価機構における各事業の情報発信 について

～発行物およびWebサイトの紹介～



人の安心、医療の安全 JQ
公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

評価機構における各事業の情報発信 について ～発行物およびWebサイトの紹介～

評価機構は、医療の質・安全の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行い、その展開についてはニュースレターや評価機構ホームページをはじめ、各事業の発行物やWebサイトよりご案内しております。今月号では、各事業の情報発信の取り組みや最新の発行物等をご紹介します。

■ 病院機能評価事業

■ 「患者満足度・職員やりがい度 活用支援」、「医療安全文化調査 活用支援」事例集

「患者満足度・職員やりがい度 活用支援」、「医療安全文化調査 活用支援」に参加し、改善に取り組んでいる病院の事例をまとめた「活用事例集」を公開しています。改善活動の参考としてぜひご利用ください。詳細は以下URLからご確認ください。

患者満足度・職員やりがい度 活用支援

事例発表病院・講師：横浜医療センター、鎌倉リハビリテーション、聖テレジア病院、戸田中央総合病院、他

URL：<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/support/satisfaction/case-2/#jirei>



医療安全文化調査 活用支援

事例発表病院・講師：東邦大学 藤田茂、川崎市立多摩病院、福岡赤十字病院、他

URL：<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/support/psc/case/#jirei>



■ 認定病院の改善事例を紹介する広報誌「Improve」

質改善に熱心に取り組んでいる認定病院の好事例を共有するツールとして「Improve」を発行しています。

2020年度は、「職員の教育・研修」をテーマに、総合南東北病院、桜ヶ丘病院、西広島リハビリテーション病院の具体的な改善活動の取り組みを紹介しました。2021年度は、「職員のモチベーションを高めるキャリア開発・支援」について取り上げる予定です。

他病院の取り組みを知ること、改善のきっかけとなることを期待しています。様々な規模、機能、地域の病院の事例を紹介しています。

過去に発行されたImproveは以下のURLよりご覧いただけます。同封のチラシもあわせてご確認ください。

<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/tool/improve/>



■ 認定病院患者安全推進事業 (PSP)

「認定病院患者安全推進協議会 (PSP: Patient Safety Promotion)」(以下PSP) は、患者安全の推進を目的に、病院機能評価の認定を取得した病院の有志が主体となって2001 (平成13) 年4月に組織化し、2021年に20周年を迎えました。

2020年度からは、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、オンラインセミナーや医療安全研修に活用できる動画配信など、移動や接触をすることなく提供できるオンラインでの活動を進めています。

2021年度は、前年度培ったノウハウを活かし、オンラインを活用したツールの拡充に積極的に取り組んでいきます。PSPホームページ (<https://www.psp-jq.jcqhcc.or.jp/>) では、会員病院限定でこれらのコンテンツを公開しています (一部のコンテンツは会員病院以外もご覧いただけます)。

■ PSPホームページで公開中のコンテンツ

▶ 教育動画

医療安全において重要なテーマを各分野の専門家が解説する「教育動画」の公開を開始しました。法定の院内研修や各職員の学習、新入職員の研修等、様々な場面でご利用いただけます。院内で動画を共有するには、ホームページにログインするためのID・パスワードが必要です。現在発行しているIDとは別に、動画視聴用のIDを発行することも可能です。詳細はPSPホームページの「お知らせ」をご確認ください。

▶ オンラインセミナー

2021年度のセミナーは、基本的にオンラインで開催します。シンポジウム形式のセミナーは、開催終了後、一定期間PSPホームページ内で講演部分を中心に動画配信します。当日ご参加いただけなかった方も後日視聴することができます。



▶ 物的環境に関連する事例集

施設・環境・設備安全部会では、院内における医療スタッフの作業環境や設備の面から医療安全について検討しています。「物的環境に関連する事例集」では、会員病院から収集した物的環境に関するインシデント・アクシデント事例を、キーワードや発生内容で検索できる形で公開しています。

■ 印刷物の提供

▶ 部会でまとめた成果物

各部会で検討したテーマについてまとめた報告書などが発行された際は、会員病院には郵送にてお送りしています。昨年度は、「転倒・転落予防の標語」をはじめとした医療安全に役立つツールを提供しました。こちらはPSPホームページ上でも会員病院限定で公開しており、各資料はPDF形式でダウンロードが可能です。

▶ 患者安全推進ジャーナル (年4号、各3冊ずつ郵送)

毎号、現場のニーズが高いテーマを取り上げて特集を組み、その分野の第一人者や、先進的な取り組みをしている会員病院にご執筆いただいた記事を掲載しています。会員病院の皆様には各号3冊ずつ無料で配布しているほか、追加購入は1冊1,100円でお求めいただけます (非会員病院は3,300円)。

上記についての最新情報は、PSPホームページ (<https://www.psp-jq.jcqhcc.or.jp/>) にてご確認ください。今後も、PSP会員の皆様にとって有用となる活動を継続できるように検討を進めていく所存ですので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 産科医療補償制度運営事業

■ 「第11回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」の公表

産科医療補償制度では、2021年3月に「第11回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」を公表しました。本報告書は、「羊水量の異常について」をテーマとして取り上げ、羊水過多・羊水過少を認めた事例を分析し、妊娠中に羊水量の異常を認めた場合の注意点や対応等について産科医療関係者に対して提言を行うなど産科医療の質の向上に役立つ内容となっています。また、「産科医療の質の向上への取組みの動向」の中で、「再発防止委員会からの提言」が産科医療の質の向上に活かされているかを分析しています。



■ 「産科医療補償制度 再発防止委員会 リーフレット・ポスター アーカイブ集」の発行

これまで発行してきた再発防止に関する報告書に関連したリーフレットやポスターを1冊にまとめた「産科医療補償制度 再発防止委員会 リーフレット・ポスター アーカイブ集」を作成しました。臨床現場や教育現場、妊産婦の保健指導やインフォームドコンセントの場面など、広くご活用いただけるものを数多く掲載しています。



これらは加入分娩機関や関係学会・団体等に広く配布するとともに、ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

「第11回 産科医療補償制度 再発防止に関する報告書」

<http://www.sanka-hp.jcqhc.or.jp/documents/prevention/index.html>



「産科医療補償制度 再発防止委員会 リーフレット・ポスター アーカイブ集」

http://www.sanka-hp.jcqhc.or.jp/documents/prevention/proposition/pdf/Saihatsu_leaflet_poster_archive_01-10.pdf



■ EBM医療情報事業 (Minds)

EBM普及推進事業 (Minds) では、診療ガイドライン作成支援の取り組みとして、2007年より継続的に診療ガイドライン作成方法の手引き・マニュアルを作成・公開してきました。

この度、4年ぶりに内容を大幅に更新した「Minds診療ガイドライン作成マニュアル2020 ver.3.0」を公開しましたのでご案内します。主な改訂ポイントは、以下のとおりです。

- ◆第1章「診療ガイドライン総論」：診療ガイドラインの定義を更新
- ◆第2章「準備」：利益相反 (COI) の開示・管理に関する具体的な説明を追加
『患者・市民参画』の項目を設け、ガイドライン作成への患者・市民参画の意義や具体的な方法を記載
- ◆第5章「医療経済評価 (新規追加)」：診療ガイドライン作成において医療経済評価を導入する場合の基本的な考え方や方法について記載

本マニュアルは、診療ガイドライン作成者のみならず、診療ガイドラインに関わる全ての方々に広くご活用いただくことを目指しております。



Mindsガイドラインライブラリ (<https://minds.jcqhc.or.jp/>) より
ご自由にご覧いただけます。



Minds診療ガイドライン作成マニュアル2020 ver.3.0
作成：Minds診療ガイドライン作成マニュアル編集委員会
発行：公益財団法人 日本医療機能評価機構
発行日：2021年3月

医療事故情報収集等事業

医療事故情報収集等事業は、医療機関から医療事故情報やヒヤリ・ハット事例を収集し、分析して、様々な情報提供を行っています。報告書は、報告された事例をテーマごとに分析し、四半期ごとに公表しています。医療安全情報は、特に周知すべき情報をまとめて作成し、毎月提供しています。これらの情報は、すべてホームページに掲載していますので、どなたでもご覧いただけます。また、ホームページの事例検索では、報告された事例を検索して閲覧、ダウンロードすることができます。



<https://www.med-safe.jp/>



医療安全情報

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業は、全国の薬局から事例を収集し、分析して、様々な情報提供を行っています。報告書は、分析テーマや、分析テーマごとに主な事例を紹介する「事例から学ぶ」を掲載し、年に2回公表しています。また、「共有すべき事例」は、報告された事例の中から共有することが必要であると思われる事例を選択し、ポイントを付して作成、提供しています。これらの情報は、ホームページに掲載していますので、どなたでもご覧いただけます。



<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>



共有すべき事例

医療の質向上のための体制整備事業

医療の質向上のための体制整備事業（通称「QI事業」）は、医療の質指標を活用した質改善活動を推進するための体制整備を目的としています。本事業のオフィシャルサイトでは、本事業の取組みの概要を紹介する他、医療の質改善活動に役立つ情報を随時発信しています。

この度、各協力団体が運用する最新の医療の質指標および昨年度の実績値を更新しました。また、医療の質指標を活用した質改善活動を進めるための質改善支援ツールや、昨年度実施したQIコンソーシアムの動画など、日々の質改善活動に参考となる情報を掲載しています。

ぜひ、本事業オフィシャルサイトをご活用ください。

<https://jq-qiconf.jcqhcc.or.jp/>



イベント情報

オンライン支援の運用を開始しました（評価事業推進部）

評価事業推進部支援課では、質改善活動への支援として、動画配信や受審相談会、サーベイヤ派遣などの受審サポートメニューを用意しています。

サーベイヤ派遣は、受審申込状況によりご希望の実施月でお受けできないことがこれまでありましたが、2021年2月から開始したサーベイヤ派遣をリモートで実施する「オンライン支援」では、ご希望の実施月で支援を実施できるようになりました。また、「オンライン支援」では、新型コロナウイルス感染症などにより外部からサーベイヤの受け入れができない場合にもサーベイヤ派遣と同等の支援をご利用いただけるようになりました。

オンライン支援は、機能種別に応じて【診療・看護】【診療】【事務管理】の3つのプログラムから選択いただけます。【診療・看護】【診療】では、①部署訪問、②病棟概要確認、③ケアプロセス調査の3つを、また【事務管理】では、①面接調査（事務領域・4.1.5）、②部署訪問の2つの内容を、それぞれ合計3時間で実施します。なお、オンライン支援にあたっては、実施内容ごとに以下の資料を事前にご提出いただけます。

受審サポートメニューに

オンライン支援

が新たに加わります！

※サーベイヤ派遣で実施申請月の調整ができない場合は、オンライン支援のご利用をお願いいたします。

概要

WEB会議システムを用いて遠隔でサーベイヤ派遣を実施します

プラン	選択可能な機能種別
1. 診療・看護【2名】	一般病院1、一般病院2
2. 診療【1名】	精神科病院、リハビリテーション病院、慢性期病院、緩和ケア病院
3. 事務管理【1名】	全ての機能種別

【時間】 各プラン3時間 【料金】 プラン1：176,000円（税込）
 プラン2・3：88,000円（税込）

※プラン1・2・3は、同時間帯で実施できるのは1病院となります。
 ※ケアプロセス調査実施条件によっては、サーベイヤ派遣に準じます。
 (1名あたり132,000円(税込))

1

WEB会議システムを用いて遠隔で実施いたします。

2

必要な設備はPC、WEBカメラ、外付けマイク、インターネット環境です。
WEBカメラ・マイク付きのノートパソコンでも実施可能です。

3

WEB会議システムを使用していない方もご安心ください。事前に接続テストや操作方法のサポートを行います。

詳細・お申し込みはこちらから
<https://hosp.jcqhc.or.jp/public/seminar/view/1814>

ご利用にあたっては裏面をご覧ください▶▶▶

公益財団法人 日本医療機能評価推進機構 評価事業推進部 支援課
 〒103-0261 東京都千代田区神田五丁目1-4-17 東神ビル
 TEL:03-5273-2121 FAX:03-5273-2122 E-MAIL:hosp@jqc.or.jp URL:https://www.jcqhc.or.jp/ 2021年3月9日版

実施内容	事前提出資料
部署訪問	設問例に回答・説明できるような写真。
病棟概要確認	準備写真例にならった病棟の各箇所の写真。
面接調査	事前提出不要。支援当日に設問例に回答・説明できるような写真を提示。

ケアプロセス調査の際のカルテの共有方法は、「Webカメラ等でカルテを撮影した映像をオンラインで共有する」、「個人情報を黒塗りしたカルテを投影する」、「カルテは投影しない」など、病院の状況によって異なります。紙カルテの場合を含め、状況に応じた資料をご準備いただくことにより、いずれの場合も問題なくオンライン支援をご利用いただけます。

また、オンライン支援は一般的なWeb会議の開催と同等の設備があればご利用いただけます。事前に接続テストや操作方法のサポートを行いますので、Web会議システムを初めて使用する場合もご安心ください。詳細・お申込みは、以下のURLをご覧ください。

<https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/support/menu/>



評価機構では、各種セミナーをWeb配信（録画型）やウェビナー（リアルタイム型）で提供しております。詳細・お申込みは、下記URLもしくはQRコードからWebサイトにアクセスいただきご確認ください。

	事業	開催日/視聴期間	イベント名
Web配信	評価	お申込みから1年間	2020年度病院機能改善支援セミナー【総合】
Web配信	評価	お申込みから1年間	2020年度病院機能改善支援セミナー【看護】
Web配信	評価	お申込みから1年間	2020年度病院機能改善支援セミナー【事務管理】
Web配信	評価	お申込みから1年間	2020年度病院機能改善支援セミナー【ケアプロセス調査・内科系症例】
Web配信	評価	お申込みから1年6ヶ月間	2020年度病院機能改善支援セミナー【一般病院3】
Web配信	評価	お申込みから3ヶ月間	2020年度 第1回 患者満足度・職員やりがい度活用支援セミナー
Web配信	評価	お申込みから最大3ヶ月	2020年度 第2回 患者満足度・職員やりがい度活用支援セミナー
Web配信	評価	お申込みから最大3ヶ月	2020年度 医療安全文化調査 活用支援セミナー
ウェビナー	教育	2021年6月1日(火)～ ※複数日程あり 詳細スケジュールはHPをご覧ください。	第1回 医療クオリティ マネジャー養成セミナー
ウェビナー	教育	2021年9月1日(水)～ ※複数日程あり 詳細スケジュールはHPをご覧ください。	第2回 医療クオリティ マネジャー養成セミナー
ウェビナー	教育	2021年9月25日(土)・ 26日(日)	医療安全マスター養成プログラム DAY1・DAY2
ウェビナー	教育	2021年12月1日(水)～ ※複数日程あり 詳細スケジュールはHPをご覧ください。	第3回 医療クオリティ マネジャー養成セミナー

病院機能評価事業および教育研修事業のイベント情報
https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/event_calendar/



認定病院患者安全推進協議会のセミナー情報
https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/seminar_calendar/



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

患者安全推進ジャーナルのご案内 (教育研修事業部)

評価機構の認定病院患者安全推進協議会が発行している機関誌です。

3月発行のNo.63では、「高齢患者の安全とフレイル対策」を特集しました。

6月発行のNo.64では、「心理的安全性の高い組織をつくる」(仮題)を特集する予定です。

患者安全推進ジャーナルのご案内

●会員病院 (毎号3冊を無料で送付します)

追加の冊数をご希望の方は、認定病院患者安全推進協議会のホームページより会員サイトにログインしてお申し込みください。会員価格は、1冊あたり1,100円(税込)です。

また、毎回、一定の冊数の追加をご希望の場合は、予め追加冊数を1冊単位で指定していただく「年間追加購入」のお申し込みができます。10冊単位で年間追加購入される場合は、最大50%の割引となります。

詳細は、協議会ホームページからご覧ください。

<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/journal/>

●会員外の病院 (1冊あたり3,300円(税込))

購入を希望される方は、評価機構ホームページ「出版・ダウンロード」からお申し込みください。協議会では会員限定のセミナーを多数開催しています。この機会にご入会もご検討ください。



医療安全情報の公表 (医療事故防止事業部)

医療事故情報収集等事業では、以下の医療安全情報を提供しました。

● No.172

「2020年に提供した医療安全情報」(3月)

● No.173

「輸液ポンプ等の流量の10倍間違い」(4月)

詳細は、本事業ホームページからご覧ください。

<https://www.med-safe.jp/>

番号	タイトル
No.158	※医療用製剤の誤投与
No.159	※誤った薬物による患者 状態悪化(薬物アレルギー)の対応
No.160	2019年に提供した医療安全情報
No.161	※吸入ステロイド薬による誤投与
No.162	70歳以上の高齢患者
No.163	2019年に提供された2019年度医療安全情報
No.164	中心静脈カテーテルのバイオフィームの発生
No.165	アライメント検査、ほかのことによるフレイル-転倒の発生
No.166	患者の移動・転倒と関係する手帳の誤用
No.167	抗がん剤(メトキシプラト)の誤投与(手帳参照誤り)
No.168	※薬品バーコードの誤読
No.169	持病薬の処方箋を誤読する際の処方箋返却

No.172 (1ページ目)

項目	件数	発生率	発生率(10倍)
輸液ポンプ等の流量の10倍間違い	83	0.03	0.3
輸液ポンプ等の流量の10倍間違い	2	0.002	0.02
輸液ポンプ等の流量の10倍間違い	4	0.01	0.1

No.173 (1ページ目)

所属先や担当者の変更の届出はお済みですか (総務部)

新年度が始まり、異動された方宛に郵送物等が届いていませんか?

病院機能評価の担当者が交代した、所属先が変わった、団体の代表者に変更があったなどございましたら、各事業の担当者もしくは評価機構 Web サイトのお問い合わせページよりご連絡ください。なお、恐れ入りますがお問い合わせからご連絡の際は、内容物および折り返しのご連絡先を必ず記載いただきますようお願いいたします。

評価機構

NEWS LETTER 2021年5月1日発行

発行：公益財団法人日本医療機能評価機構 (略称：評価機構)

発行責任者：河北 博文

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1丁目4番17号 東洋ビル

TEL：03-5217-2320 (代) / (編集：総務部情報企画課)

<https://jcqh.or.jp/> e-mail:info@jcqh.or.jp

本誌掲載記事の無断転載を禁じます

編集後記

みなさま、Web会議やオンラインセミナーにも慣れてきたころでしょうか。参加するときは集中力を保つのが大変なことも多いですが、その分、遠方の方や今まで都合が合わなかった方にも支援をお届けできるよう努めてまいります。

今年度もよろしくお願いたします。